

学生、大学、OB三者三様の思いが交差する中、恒例となった就職セミナーが始まった。三十数年前卒業の私たちの時代は申し訳ないと思わざるを得ない程、苦しんでいる様が見える。前年迄35名位の参加であったが約80名という倍増の参加者がそれを端的に物語っている。20班に分けて個人面接からスタートし、初めてとは思えない程流暢に自分の意見を述べる学生や頭で理解していても言葉がなかなか出てこない学生、しかし体験の吸収力が凄いか午後からはいっしょに自分のものになっているところは頼もしささえ見



夜。懇親会では、すっかり打ち解けた学生達の質問に、OB達が自分の経験談などを元に様々なアドバイスを送っていた。2日目はさすがに緊張が解れたのか集団面接では他者との調和を図りながらも的確に自分の意見を述べるなど見違える程逞しく感じる学生の姿が。学生達に少しでも役に立つて欲しいと願い、そして県立大学の強い絆が感じられたこの2日間でした。今年はどうなる成長の見える学生達が出てくるのか楽しみでもあります。

本年は十一月二十一日・二十二日、大学内にて開催が決定しております。

我が国が非常な痛みを伴った変革の中に有ると同様に、母校長崎県立大学も変革を余儀なくされつつあります。昭和四十二年の創立から、長崎県の唯一の県立四年制大学として三十有余年に渡り県北の地に有り日本国内で様々な職種に活躍する多数の卒業生を輩出し、今まさに伝統を築きつつあるこの時期に、独立行政法人化は時代の要請であるとはかりに変革を求められています。更に長崎県内の2番目の県立大学として設立されたシーボルト大学との合併も既定のことと議論されている状況です。我々はこの後戻り出来そうもない時代の流れの中で、多くの鵬友会会員の努力によって作られた伝統、長崎県立大学の持つブランドを消し去られ、白紙にもどされる訳には決していけないものと考えます。多くの卒業生が、学閥や人脈の

第四回就職セミナー 大学内で開催。

できるだけ多くの学生に機会をとの配慮

Vol. 16

発行

長崎県立大学鵬友会
佐世保市川下町一二三(大学内)
☎〇九五六―四七―五一四六
☎二二〇―四七―九〇四四

長崎県立大学同窓会 鵬友会会報
おおとり



我が国が非常な痛みを伴った変革の中に有ると同様に、母校長崎県立大学も変革を余儀なくされつつあります。昭和四十二年の創立から、長崎県の唯一の県立四年制大学として三十有余年に渡り県北の地に有り日本国内で様々な職種に活躍する多数の卒業生を輩出し、今まさに伝統を築きつつあるこの時期に、独立行政法人化は時代の要請であるとはかりに変革を求められています。更に長崎県内の2番目の県立大学として設立されたシーボルト大学との合併も既定のことと議論されている状況です。我々はこの後戻り出来そうもない時代の流れの中で、多くの鵬友会会員の努力によって作られた伝統、長崎県立大学の持つブランドを消し去られ、白紙にもどされる訳には決していけないものと考えます。多くの卒業生が、学閥や人脈の

はさまに立ち向かい、もがきながら作り上げてくれた長崎県立大学に対する信頼を決して絶やすことにならないよう、心してこの変革の問題を捉えることが必要と思われる。幸い、佐世保市を初めとする県北の自治体が、新たな独立行政法人の本部を県立大学に設置するように県側に働きかけており、我が鵬友会も、この働きと呼応して活動することにより長崎県立大学の独立行政法人化後の存続を計つていきたいと思ひます。更に合併後の名称は、長崎県立大学を継承することが最良の選択であり、二万名の鵬友会会員の希望であることを同時に訴えて行きたいと考えます。今年の秋はまさに鵬友会がその意思を外に向かつて発信しその真価を問われることになるものと思われ

大学改革にむけて
鵬友会会長 前田 敬一

長崎県立大学の名称を消すことなく、佐世保の地から学舎を消すことなく、かつ変革を受け入れることが鵬友会の今後の活動指針であると思ひます。幸い、佐世保市を初めとする県北の自治体が、新たな独立行政法人の本部を県立大学に設置するように県側に働きかけており、我が鵬友会も、この働きと呼応して活動することにより長崎県立大学の独立行政法人化後の存続を計つていきたいと思ひます。更に合併後の名称は、長崎県立大学を継承することが最良の選択であり、二万名の鵬友会会員の希望であることを同時に訴えて行きたいと考えます。今年の秋はまさに鵬友会がその意思を外に向かつて発信しその真価を問われることになるものと思われ

厳しい就職状況が続く中、それでも前向きに取り組んでいる県立大生に、OBとして、社会人先輩としてできることが何かあるはず。厳しい社会状況に比例するように、年々就職セミナー参加希望者の増える状況下で、未来を担う学生の熱い想いに応えるため、鵬友会では大学と一体となり、試行錯誤しながらセミナーメニューを考えてきました。模擬面接、OB体験談、ミーティングや講演会、自己分析等。

求む、セミナー応援者

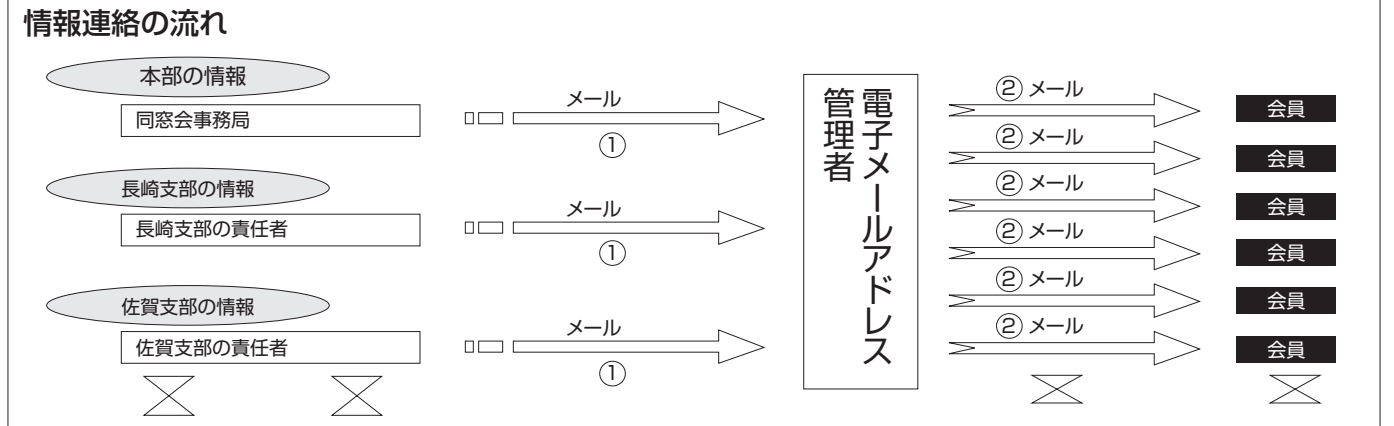
毎年これらのスケジュールを実施するにあたっては多くのスタッフが必要となりますが、応援OBスタッフの数が不足しています。先の見えない今日だからこそ、県立大OBとして就職セミナーの応援にかけつけて頂けませんか。未来を見据えて輝くまなざしをもった学生から、逆に元気もらい、リフレッシュした自分を発見することもあるはずですよ！

お問い合わせ・お申し込みは
各支部長又は鵬友会事務局まで

電子メールのアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、7月の支部総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議しました。つきましては、下図のような仕組みを考えましたので、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えてください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。

メールアドレスの管理者氏名／小室 宏・役職／関東支部支部長・アドレス／komuro@ho-yu.com



1. 本部および各支部の情報(総会等の会合連絡、その他活動の連絡)は、それぞれの責任者よりメールアドレス管理者に送られる。
2. メールアドレス管理者は、情報ごとに、受け取りを希望している会員に、その情報の責任者名をつけた上で送信する。

空手道部今昔記
昭和64年卒 池田 明人
武道館は一生の思い出
皆様如何お過ごしでしょうか？私は昭和64年(平成元年)卒業の池田明人と申します。現在、佐世保商工会議所に勤務ですが、空手道部の監督(名前だけですが)を仰せつかつています。大学を卒業後、大分に就職しましたが、長男ということもあり佐世保に戻ってきたのが平成5年4月です。その当時はよく大学にも顔を出していましたが、しばらく見ない間に空手道部は散々たるものとなっていました。部員は少ない時でも15人前後いたはずが、3、4人いるのかどうか把握もできない状況でした。とにかく今いる部員を減らす事無く、少しづつ体制を整えようと考えましたが、部員が少なくまとめた練習もできないため、実践練習を考えると、選手を連れての合宿にも参加しました。部員もなんとかがりぎりのところで持ち堪え、現在10人を超える部員になりました。2年前の九州インカレでは団体3位入賞、昨年は、「西日本大会学生空手道選手権大会(長崎)」、「全国国公立大学空手道選手権大会(大阪)」、「全日本学生空手道選手権大会(東京武道館)」に参加できるまでになりました。10年前を考えると夢のような話です。学生が活動しやすい環境づくりで一番苦労するのは金銭的な事です。特に昨年は3つの大きな

大会に参加し、なおかつ「西日本」は長崎が主管のためかなりの額を出費する必要がある。そこで負担をお願いしたのが「空手道部OB会」の先輩方」と「長崎県立大学同窓会鵬友会」です。この厳しい経済状況の中「現役学生が頑張っているのなら」と快く出資していただきました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。学生ともども私も武道館のコートに立たせていただき非常に感激しました。一生の思い出です。現在、練習にはなかなか顔を出せませんが、ある程度部員も安定し、コーチの中村君がよく面倒みてくれているので安心して任せている状況です。今年長崎は「ゆめ総体」が開催され、空手道は佐世保市が会場で、私も8月4日、7日までの大会期間中会場に張りついていました。もう佐世保では見る

本年も大好評 恒例留学生激励会

5月19日好評だったボーリング大会で幕を閉じました。今回から交換留学生も加わり総勢50数名の大ボーリング大会となりました。前回にも増して気合いの入った留学生も多く、どのチームも序盤から熱の入った試合運びとなり、かなりの高スコアが期待できそうな大会となりました。しかしながら若い留学生と緒になつて張り切りすぎているOBも見られ、後日病院通いなどなさらぬようにたどるばかりでありましたが、全員無事怪我も無く気持ちのいい汗をかいた参加者はレオプラザホテルに移動し、赤堀学生部長・平林教授にも参加していただいた親睦会では美味しい料理に舌鼓を打ちながら



事はないと思いますのでいい経験させていただきました。私は空手を通じて多くの方に出会う事ができ、様々な経験を重ねる事ができました。現役学生には「空手が強くなる事よりも、空手を通して人間的に成長してもらいたい」と思っています。今仕事の関係で長崎県立大学の学生さんと「まちづくり(商店街活性化)」を共に検討しているところで、長崎県立大学との縁はまだまだ切れそうもありません。今後ともご指導・ご支援よろしくお願い申し上げます。



大分支部

●支部長 稲葉 茂雄 (47年度卒)
a097・5433・8098
(自宅)
大分市青葉台1丁目9-10

大分支部「キーワード集」

●「大分弓張会」
鵬友会大分支部の前身。
平成五年八月二十日発会。
会長 米澤金作氏(昭四十六年卒)
平成八年昇格により発展的解消。
●「大分弓張通信」
平成五年九月一日創刊の「大分弓張会」の機関紙。
当時の編集部は「別府市東荘園、田辺方」とある。
平成八年四月二十日第六号より当支部昇格により「鵬友大分通信」と名称変更(編集部東京)。
創刊号に「祝、大分弓張会発足」として
弓張岳のもとに学びし友どちが今宵集いて心束ねり
懐かしき地名をいひて語りあふ
さまたまに生きる我ら弓張の山仰ぎつつ曾て学びき
と寄せられては
なお、創刊号は現存部数少なく「お宝」である。
●「こつこつ庵」
大分支部草創の地(店)
大分県庁近くの郷土料理店、大分支部はここで産声を上げた。
関あじ関さば・ふぐ料理からだんご汁まで、ユニークな親父と味は絶品。ホームページあり。
●「総会準備会」
読んで字のごとく「支部総会」の準備・打ち合わせの会。
多い時は「準備会」と称して4、5回に及ぶ年度もある。
●「百万石」
支部の打ち合わせ等のいきつけ会場、担当の「お姉さん」が面白

い。
●「総会準備会」の県内巡回
平成十二年より始まった新しい形の支部総会準備会。
大きな目的は、県内各地にて開催することにより、その地区の会員の参加促進、親睦、相互情報交換することにある。
【平成十二年七月】
日田市「屋形船」で盛り上がる。
【平成十四年八月】
竹田市「一竹」、会員の実家。『予約承ります。是非どうぞ』
【平成十五年八月】
中津市「丸清」、鰻料理に満足。
来年はどこにしようかな！

●「OBセミナー」
平成十年から始まる、大分支部事業の柱のひとつ。
大分県出身者向けの就職ガイダンス。本年度六回を数え、参加学生は累計五十六名を超える。
初回は外部講師の外に、当時の米澤支部長が講師・模擬面接官をつとめた。
●「プラスワン運動」
同窓会活動において、他支部・他大学でも共通の課題。
会員の参加あつての同窓会である。
「皆様、最寄の支部へご連絡を」
●「なしか！」
大分方言で、「なぜだ!」「どうしてだ!」という意味。
瓜生田前支部長が本会報に連載、紹介した言葉として有名。今では地元ラジオ局でも放送、単行本も出版されている。大分支部では一合合に一回は「なしか!」と叫ぶやつがいる?
●「横軸と縦軸」「横糸・縦糸」
当支部の設立総会に於ける、当時の米澤初代支部長の言葉として有名。
【同級生のクラス会を横軸とするならば、同窓会と言わば縦軸、合わせて母校の歴史の座標軸】
【県内同級生の横糸と、先輩から後輩への間の縦糸の二つの糸がうまく織りなす。母校の発展に寄

与できる組織に成長」
●「大分支部総会」
本年度は左記のとおり行います。
【日時】十月四日午後六時
【場所】大分市「ソレイユ」
是非、多数の参加をお願いします。

佐賀支部

●支部長 森田 茂 (47年度卒)
a0955・46・4767
(自宅)
西松浦郡西有田町御内5-6

佐賀支部活動報告

佐賀支部の十四年度活動について報告します。本部役員会に計五回出席します。五月中旬ボウリング大会で楽しんだ後、恒例の留学生激励会に出席しました。
第四回目的就職セミナーが十一月第四土日、本大学で開催され今までの鳥帽子岳に引き続き参加しました。セミナーに参加した学生の皆さんは昨年より大幅に増加し、厳しい就職戦線に向け意欲が向上していることを実感しました。支部の皆様のご理解とご支援をこれからもよろしくお願いしたいところです。
なお今回も、学生のエントリシートへの添削を各支部で行うことになり、佐賀支部では不十分ながらも送付されてきた分の添削を行うことができました。
次に、十一月中旬、二回目となる一泊での支部総会を本部の前田会長を迎えて嬉野温泉で開催し交流を深めました。(計十三名)
十四年度佐賀支部の活動報告は以上ですが、十五年度からは六年

全国各地で おとし達が 翔いています

いう淋しいものですが、地道に取り組んでいます。今年は平山新学長の意欲あふれるお話を伺い、例年の意欲盛り上がりでした。
岡崎寛先生、前田会長も例年どおり出席いただきました。
今、大学には独立法人化、シールト大との統合、学生数の減少など大きな課題が迫ってきています。県庁所在地の支部としていろいろな形で支援していきたいと考えています。



長崎支部
●支部長 古川 信利 (49年度卒)
a0958・255・6477
(自宅)
長崎市五島町5-34-1110

長崎支部活動報告

長崎支部は1月25日に長崎市の「セントポール長崎」で新年会を兼ねた支部総会を開きました。支部の全体的な活動はこれだけと

ぶりに新しい支部長を迎えて支部の活性化を図ることになりましたので、佐賀支部の方を初め、本部役員の皆さん宜しくお願いします。

新支部長から一言

同窓生の皆様こんにちは、15年度から石井支部長を引継ぎました47年度卒の森田茂と申します。3代目の支部長になります。石井博史氏とも佐賀支部の発展・維持に多大なる貢献をされ、佐賀支部をまとめてこられました。このご両人ともではいかなと存じますが、私なりに頑張ってみようと思います。ご協力、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭 (46年度卒)
a092・886・0358
(自宅)
福岡市西区愛宕区2-4-303

福岡支部活動報告

福岡支部では常に本部との連携を図りながら支部活動を併行させております。
その一環として、14年度は本部役員会、開学35周年記念鵬友会総会を始め、留学生激励会出席、そして大学内での第4回就職セミナーには2日間に亘り役員4名が応援、終了後にはエントリシート添削支援。
支部独自の活動としては7月・11月・12月の支部役員会を始め、今年1月19日には恒例の支部総会・親睦会を開催、折しも大学のセンター試験日と重なり先生方の出席も仰げず、参加人数は例年と比べ格段に少なく、少し寂しい会となりました。楽しいひとときでもありました。
本年度も年末または年始で計画をしておりますので多数のご参加を

中国支部

●支部長 平岡 弘幸 (49年度卒)
a08・208・237・0233
(自宅)
広島市南区楠町4丁目1-60

中国支部活動報告

中国支部では今秋第五回目的総会を予定しています。三年ぶりの総会ということになりましたが、前回の第四回総会では二〇数名の会員と本部より前田会長他一名の方にご参加頂き、盛大に開催されました。昔話で大いに盛り上がった。全員の近況報告を聞かせて頂いた。交流し合いました。その後、支部全体の活動は特に開催していませんが、会員同士の交流は盛んに行われています。

中国支部の特に一・三期生の諸先輩方は元気な方が多く、その活躍を聞かせて頂くことが心強くも自政治体の中で課長クラスとして地元経済をサポートされておられる方、大手・中堅ゼネコンで役員として活躍されておられる方、独立し社長として会社経営に奮闘しておられる方、情報系企業で幹部として活躍されておられる方等、それぞれ地域ではなくてはならない存在の方々ばかりです。その活躍を聞き及ぶにつけ、我々もそういつた方々を目標に精進し、何処でも誰からもアテにされる人間にならなければならぬとの思いを強くします。今年の総会でもまた県立大学で学んだ仲間が集い合い、それぞれ頑張っている姿を披露し合い、悩んでいることがあれば相談し合い、更なる明日への元気を持ち帰って頂ければと思います。
一人でも多くの方に参加頂き、元気な顔を拝見し、色々な話をお伺いできる場が総会ではないかと考えます。近々のうちに中国支部

お待ちします。
また就職セミナーには例年通りできる限りの応援をすべく支部役員会で検討中です。
さらに、本年は佐世保福岡事務所が10月に開設される予定で、現在開設準備室を設立中です。福岡支部としても積極的に佐世保PRを応援していく予定です。今後の鵬友会への応援をお願いします。



関東支部

●支部長 小室 宏 (52年度卒)
a0429・72・7631
(自宅)
飯能市秀形台1-20-15

新たな旅立ちを感じる ホームページの立上げ

過去1年間を振り返ってみると、関東支部の新たな出発(たびだち)が感じられました。
関東支部のホームページの立ち上げ(14年9月)
この同窓会だよりを読まれている会員の中で、まだ、関東支部の方々にご案内を送付させて頂きたいと考えています。



●その他支部連絡先

関西支部
支部長 星 憲夫 (47年度卒)
大阪府高石市千代田1-27-7
電話 0722・65・5750

時々ホームページを見てますか?
これまでとちょっと違いますよ!
現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で。
もちろん住所変更等にもご利用いただけます。
【ホームページアドレス】
http://homepage1.nifty.com/ho-yu/

平成15年7月19日

平成15年3月末日

平成15年度予算

平成14年度予算及び決算報告書

(収入の部)

(単位：円)

	科 目	予算金額	備 考
1	会費（卒業生）	360,000	@12,000×30名
2	会費（新入生）	5,928,000	@12,000×494名
3	名簿代	—	
4	預金利息	1,500	
5	雑収入	43,000	激励会会費 43,000
	（小 計）	6,332,500	
	前年度繰越金	139,188	
	合 計	6,471,688	

(収入の部)

(単位：円)

	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	会費（卒業生）	360,000	288,000	@12,000×24名
2	会費（新入生）	5,832,000	5,796,000	@12,000×483名
3	名簿代	—	3,000	@3,000×1名
4	預金利息	2,000	1,851	
5	雑収入	350,000	360,000	総会会費280,000・激励会会費47,000 局長歓迎会会費33,000
6	記念品積立金取り崩し	233,661	233,661	
7	贈友会基金特別積立金取り崩し	300,000	0	
	（小 計）	7,077,661	6,682,512	
	前年度繰越金	586,475	586,475	
	合 計	7,664,136	7,268,987	

(支出の部)

	科 目	予算金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	
2	卒業記念品代	300,000	
3	通信費	1,000,000	
4	人件費	900,000	
5	支部活動費	700,000	
6	旅費交通費	150,000	
7	渉外費	350,000	
8	事務局費	300,000	
9	印刷費	800,000	
10	贈友会基金特別積金	400,000	
11	留学生関係費	350,000	
12	会議費	100,000	
13	総会費	300,000	
14	雑 費	21,688	
15	部費援助費	250,000	
16	就職活動援助費	300,000	
	（小 計）	6,471,688	
	次年度繰越金	—	
	合 計	6,471,688	

(支出の部)

	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	250,000	
2	卒業記念品代	300,000	254,250	
3	通信費	1,500,000	1,429,422	
4	人件費	900,000	885,850	
5	支部活動費	700,000	700,000	
6	旅費交通費	150,000	86,850	
7	渉外費	350,000	441,523	
8	事務局費	300,000	290,342	
9	印刷費	900,000	866,300	
10	贈友会基金特別積金	—	0	
11	留学生関係費	350,000	365,652	
12	会議費	100,000	62,499	
13	総会費	1,300,000	951,305	
14	雑 費	64,136	23,783	
15	部費援助費	250,000	250,000	
16	就職活動援助費	250,000	272,023	
	（小 計）	7,664,136	7,129,799	
	次年度繰越金	0	139,188	
	合 計	7,664,136	7,268,987	

《収入合計》 7,268,987 — 《支出合計》 7,664,136 = 《次年度繰越金》 139,188

平成15年7月15日 鵬友会会長 前田 敬一

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。

会計監査 宮地 学 ・千北 裕吉

平成15年3月末日

平成15年3月末日

平成14年度貸借対照表

平成14年度財産目録

(単位：円)

資産の部		負債・資本の部	
現 金	15,626	40周年積立金	1,232,414
普通預金	103,562	記念品積立金	—
定期預金	5,270,659	贈友会基金特別積立金	4,038,245
出資金	20,000	繰越金	139,188
計	5,409,847	計	5,409,847

(単位：円)

預金種目	金 額	預 入 先
現 金	15,626	
普通預金	103,562	親和銀行本店営業部
	—	親和銀行相浦出張所
定期預金	5,270,659	親和銀行本店営業部
預金合計	5,389,847	
出資金	20,000	長崎県立大学生生活協同組合
合 計	5,409,847	

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。